

令和元年度事業報告

岡山県バス協会では、行政の協力や地方自治体の支援を受け、バス利用促進を最重要課題として捉え、乗合バス事業におけるバスターミナルやバス停留所の整備、バス利用者へのサービスの向上、定時性確保に向けた渋滞対策をはじめとしたバス利用者の利便性向上に努めた。貸切バス事業では、軽井沢バス事故以降の安全規制強化に対応し、利用者に安全・安心な輸送提供のためのコストを確保するため、運賃適正収受の継続及び旅行業者等への手数料の取扱い等の説明会等を開催するなど、事業の安定化を図った。

安全輸送の確保については、事故防止対策として、国土交通省が策定した「事業用自動車総合安全プラン2020」及び日本バス協会が策定した「バス事業の総合安全プラン2020」に基づく施策を中心に積極的に取り組み、安全・安心なバス事業の信頼回復に努めるとともに、岡山県警・岡山運輸支局の協力の下、バスジャック対応訓練を実施し、乗客の安全確保を最優先として迅速・的確な対応ができるよう協力体制の強化を図るなど、安全安心なバス事業の構築に努めた。

イベント関係では、第5回となる「おかやまマラソン2019」について、交通規制によるバス運行対策、ランナー・役員等関係者の輸送対策に積極的に協力を行った。

当協会はこの状況の下、2019年度事業計画に基づき、安全で安定したバス事業が地域公共交通の重要な役割を果たし、地域の方々の期待に応えられるよう連携して、様々な取り組みを行った。

また、本年1月に奈良県で発症が確認された「新型コロナウイルス感染症」は瞬く間に全国に拡大し、感染拡大防止のため、政府の外出自粛要請のほか、学校の休校や各種イベントの中止、集客施設の閉鎖、更にこうした状況を受けた企業活動の低下により、人の移動がかつてない制約を受け、バス事業は大きな打撃を受けたところである。当協会では、企業の業績悪化に対しての支援制度や助成制度、バス事業における規制要件の緩和措置などの情報提供やバス事業への影響調査などに積極的に対応した。

1. 年度会員数・その他（令和2年4月1日現在）

①会員数

普通会員 82 (期間中増減 減3)

②車両数

一般乗合 702両 (期間中 17両減)

一般貸切 766両 (期間中 28両減)

2. 主な会議

(1) 通常会員総会	1回
(2) 理事会（役員会）	4回
(3) 監事会	1回
(4) 各種委員会等	
①財務委員会	1回
②運営委員会	1回
③貸切委員会	3回
④事故防止対策委員会	3回
⑤補助金運用委員会	1回
⑥岡山市中心市街地の公共交通に関する検討委員会	2回
⑦バスの日記念事業検討部会	1回
⑧岡山駅西口バスターミナル運用協議会	1回
⑨岡山駅西口バスセンター運営委員会	4回

〈概要〉

(1) 第44回通常会員総会

令和元年6月18日（火） 岡山プラザホテル

【議 題】

① 平成30年度事業報告(案)及び平成30年度会計報告諸表(案)について

② 理事及び監事の選任並びに会長候補者の推薦について

③ その他

2019年度事業計画案及び2019年度収支予算について（報告）

(2) の1 第1回理事会（役員会）

令和元年5月24日（金）岡山プラザホテル

【議 題】

① 総会に付議する議案について

【第1号議案】

・平成30年度事業報告(案)及び平成30年度会計報告諸表(案)について

【第2号議案】

・理事及び監事の選任並びに会長候補者の推薦について

- ② 会員総会の招集について
- ③ 次期の会長、副会長、専務理事の選任及び理事会の開催について
- ④ その他
 - ・就業規則第37条別表の確認及び事務局長の雇用延長について

(2) の2 第2回理事会

令和元年6月18日(火) 岡山プラザホテル

【議 題】

- ① 会長、副会長、専務理事の選任
- ② 役員報酬額について
- ③ その他

・日本バス協会各委員会の委員の推薦

(2) の3 第3回理事会(役員会)

令和元年11月22日(金) 岡山プラザホテル

【議 題】

- ① 令和元年度上期(4月～9月)事業報告について
- ② 岡山駅前路面電車乗り入れにかかる実証実験の陳情について
- ③ 岡山市中心市街地の公共交通に関する検討委員会委員について
- ④ 新規入会の承認について
- ⑤ その他

(2) の4 第4回理事会(役員会)

令和2年3月19日(木) 岡山プラザホテル

【議 題】

- ① 令和2年度事業計画(案)について
- ② 令和2年度収支予算(案)について
- ③ その他
 - 新型コロナ関連
 - ・日本バス協会を通じたマスクの配布について
 - ・新型コロナウイルス感染拡大による影響調査(貸切)について
 - 要望書の提出について
 - ・こどもの森国際児童年記念公園への貸切バス駐車場の確保について

- ・環境対応バス導入加速事業補助金の延長・継続について
- 新規入会についての検討結果について

(3) 監事会（監事監査）

令和元年5月20日（月）岡山県バス協会 会議室

【監査内容】

- ・平成30年度職務執行状況
- ・平成30年度事業報告
- ・平成30年度収支決算（計算書類及びその附属明細書等）について

(4) の① 財務委員会

令和元年6月11日（火）岡山県バス協会会議室

- ・乗合バス要素別原価報告書集計（岡山県分）

(4) の② 運営委員会

第1回 平成31年4月8日（月）岡山県バス協会会議室

- ・身体障がい者割引の取扱いについて
- ・消費税率アップの取扱いについて
- ・運行計画設定、変更届出等取扱いについて
- ・カルチャーゾーン行事予定表の掲示について

(4) の③ 貸切委員会

第1回 令和元年7月11日（木）両備バス会議室

- ・旅行業者等に支払う手数料の考え方について
- ・島根原発避難訓練について
- ・その他

第2回 令和元年11月6日（水）岡山県バス協会会議室

- ・手数料通達のQ&Aについて
- ・島根原発避難訓練及び視察研修について
- ・おかやまマラソンについて
- ・令和元年度持ち出し委員会について
- ・その他

第3回 令和2年1月15日（水）～16日（木）徳島市

- ・貸切運賃・料金等にかかる教育委員会等への要請について
- ・貸切新規入会申込への対応について
- ・「こどもの森」への貸切バス駐車場確保のお願いについて
- ・その他

(4) の④ 事故防止対策委員会

第1回 平成31年4月22日（月）岡山県バス協会会議室

- ・2019年春の全国交通安全運動、交通安全県民運動の実施について
- ・中国バス協会事故防止対策委員会専門部会報告
- ・事故報告
- ・平成31年度事業について

第2回 令和元年8月27日（火）岡山県バス協会会議室

- ・令和元年秋の全国交通安全運動、交通安全県民運動の実施について
- ・中国バス協会事故防止対策委員会専門部会の報告
- ・事故報告
- ・交差点立哨調査について
- ・バスジャック訓練の実施について
- ・その他

秋の交通安全運動ポスター（案）について

原子力防災訓練について

第3回 令和元年11月29日（金）

- ・令和元年度年末年始の輸送等に関する安全総点検の実施について
- ・年末・年始の交通事故防止県民運動の実施について
- ・中国バス協会事故防止対策委員会専門部会の報告について
- ・事故報告について
- ・交差点立哨調査について
- ・乗合バス添乗調査について
- ・その他

(4) の⑤ 補助金運用委員会

令和元年7月26日（金）岡山県バス協会会議室

- ・令和元年度岡山県運輸事業振興助成補助金の運用について
- ・その他

(4) の⑥ 岡山市中心市街地の公共交通に関する検討委員会

第1回 令和元年10月9日（水）岡山県バス協会会議室

- ・路面電車岡山駅乗入れ計画についての説明（岡山市）
- ・その他 G20保健大臣会合について、岡山マラソンについて他

第2回 令和元年10月25日（金）岡山県バス協会会議室

- ・路面電車岡山駅乗入れ計画に対する意見等について
- ・本委員会委員について
- ・天皇陛下御即位奉祝事業について
- ・その他

- イコットニコット前の縁石改修工事について 他
- (4) の⑦ バスの日記念事業検討部会
令和元年7月29日(水)岡山県バス協会会議室
- ・バスの日の記念事業について
 - ・その他
- (4) の⑧ 岡山駅西口バスターミナル運用協議会
令和2年1月23日(木)両備バス会議室
- ・岡山駅西口バス待合所レイアウト変更について
 - ・西口バスセンター10年目ありがとうキャンペーン会計報告(確定)
 - ・その他
- 入場者数調査について
デジタルサイネージの更新について
- (4) の⑨ 岡山駅西口バスセンター運営委員会
- 第1回 平成31年4月4日(木)両備バス会議室
- ・西口バスセンター10年目ありがとうキャンペーンについて
- 第2回 令和元年7月23日(木)両備バス会議室
- ・西口バスセンター10年目ありがとうキャンペーン会計報告(経過)
 - ・G20保健大臣会合における西口バスセンターの利用予定について
 - ・その他
- 第3回 令和元年9月18日(水)両備バス会議室
- ・おokayamaマラソン開催時のバス待機場場について
 - ・G20保健大臣会合開催中のバス待機場場について
 - ・その他
- 第4回 令和2年1月23日(木)両備バス会議室
- ・岡山駅西口バス待合所レイアウト変更について
 - ・西口バスセンター10年目ありがとうキャンペーン会計報告(確定)
 - ・その他

3. 業務の概要

(1) バス輸送改善事業

バス輸送の改善を図るため、岡山駅東西バスターミナルの整備や県内各所バス停の整備を行うとともに、低床スロープバスの導入の促進や利用者への運行情報提供など、輸送環境の改善及び輸送サービス改善等のため主に以下の事業を実施した。

ア. 岡山後樂園バス停の移設に伴い、文化庁と調整して景勝地にふさわしいの

りばサインを作製・設置した。(交付金事業)

イ. 岡山駅東口バスターミナルの運行状況をデジタルサイネージで表示する『えきバス時刻表』(岡山駅東西通路の新幹線改札口及び在来線中央改札口と駅東口バス案内所側面に岡山市が設置)の管理運営を行い、遅延情報等も含めた運行情報の提供により、利用者の利便向上を図った。

ウ. 岡山駅西口バスターミナルを発着する、高速バス、空港リムジンバス、岡山市北西方面路線バス及び貸切観光バスの乗降について、安全対策及び利用者サービスの向上を図るため、バスターミナル及び待合所の適切な管理・運営を行った。

エ. バス停整備等(交付金事業)

- ・バス停留所上屋新設(新道中畑下、美作大学前) 2カ所
- ・バス停留所上屋補修(工業高校前) 1カ所
- ・上屋支柱撤去(倉敷成人病センター前) 1カ所
- ・県内バス停標柱新設・補修 47カ所

オ. 岡山空港の名称が「岡山桃太郎空港」に変更されたことに伴い、各所に設置されているバスの方面プレートを変更した。

- ・岡山駅・倉敷駅 5カ所、7面(交付金事業)

カ. バス路線情報のほか主要観光地・各種施設などを掲載した「おもてなし公共交通バスマップ(岡山県南版、倉敷版)」を作製・配布し、バスのPRと観光客を含めた幅広い利用者の利便向上を図った。(交付金事業)

- ・岡山県南版 10,000部
- ・倉敷版 5,000部

(2) 安全輸送体制の確保

国の定めた「事業用自動車総合安全プラン2020」及び日本バス協会で策定した「バス事業の総合安全プラン2020」に基づき主に次の事業を実施した。

ア. 春、秋の交通安全運動及び年末年始の輸送に関する安全総点検において、事故防止対策委員会を中心に、安全運行、事故防止対策等を中国運輸局岡山運輸支局、岡山県警察本部の指導と協力を得て、会員に周知・徹底するとともに、交通安全活動に参画し広く交通安全を働きかけた。(交付金事業)

- ・交通安全のポスターの配付 880枚
- ・交通安全ポケットティッシュの配付 14,800個

イ. バス事故の3割を占める車内事故防止のための「車内事故防止キャンペーン」を7月に実施し、利用者への「ゆとり乗降」の啓発や運転者に対する「ゆ

とり運転」を呼びかけ、ポスター、チラシ等により啓発活動を行った。

チラシ配布依頼：岡山県トラック協会、岡山県タクシー協会、JAF 岡山支部

(交付金事業)

- ・車内事故防止ポスター（中吊り） 620枚
- ・車内事故防止ポスター（待合等掲示用） 70枚
- ・ドライバー異常時対応システム搭載車両啓発ポスター
185枚
- ・貸切バス利用者にシートベルト着用啓発の紙コップを配付し、着用を促した
40万個

ウ. 運行管理者、運転者研修事業（交付金事業）

運行管理業務の適切な実施、運転者の事故防止等を図るための各種講習等受講に助成を行い事故防止に努めた。

- ・運輸安全マネジメント講習 56名
- ・運行管理者等一般講習 356名
- ・運行管理者等基礎講習 84名
- ・運行管理者試験事前講習 2回
- ・バスドライバー研修 34名
- ・運転者適性診断 770名

エ. 安全教育、車内車外事故防止の対策として EMS・ドライブレコーダーの導入

促進、健康起因事故防止のため SAS 簡易検査の助成を行った。（交付金事業）

- ・EMS・ドライブレコーダー導入助成 36両
- ・SAS簡易検査助成 129名

オ. その他安全対策を図るための教材配布等（交付金事業）

- ・安全運転手帳（2019年安全運転のしおり） 2,600冊
- ・運転記録証明交付 1,472名
- ・整備管理者選任後研修資料 100冊
- ・バス運転者の労働時間等の改善のための基準（基礎） 3,000冊
- ・〃（応用） 3,000冊
- ・〃 教育・研修マニュアル（基礎） 600冊
- ・〃 教育・研修マニュアル（基礎） 600冊

カ. 交通安全意識（飲酒運転撲滅、シートベルトの着用等）の高揚を図るべく、
県下バス事業者で引き続きラッピングバスの運行を行い、啓発に努めた。

キ. 路線バスの添乗調査

乗客の安全性の向上、車内事故防止対策の強化及びサービス体制の促進を

図るため、路線バスの運転状況を添乗により調査し、運転者指導を行った。

乗合バス添乗調査 (10事業者 87回)

ク. 交差点立哨調査

バスの運行が多い岡山市内の主要交差点(柳川、郵便局前、相生橋西詰)において、左折時の安全確認状況を調査した。(確認台数 880両)

ケ. 貸切バス事業者の適正化を図るため、道路運送法の一部を改正する法律に基づき設立された『一般貸切旅客自動車運送適正化機関』へ納付する貸切バス事業者の負担金について、その一部を助成。(77事業者)

コ. 日本バス協会において、貸切バス事業の安全性に対する取り組み状況について評価・認定し、利用者や旅行業者などに情報提供を行う「貸切バス事業者安全性評価認定制度」について、次の取り組みを行った。

なお、当初予定していた「貸切バス事業者安全性評価認定制度説明会」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

・申請事業者の訪問審査 27事業者実施

サ. 労働環境の改善による事故の防止及び運賃の適正収受による安全コスト確保を目的として、「働き方改革の推進に向けた労働時間等及び貸切バス事業者の手数料の法的取扱い」説明会を実施。(出席者延べ167名)

シ. バスジャック・テロ等危機管理体制の構築

令和元年9月11日、岡山県警察本部、中国運輸局岡山運輸支局の協力を得て、山陽自動車道岡山IC～玉島IC間でバスジャックを想定し、実践的訓練を実施し、その後、警察官のバス突入訓練を実施。実施後に行われた検討会では、対応の確認・課題などを検討し、緊急時に迅速・的確な対応ができるよう協力体制の強化を図った。

(訓練参加者約100人、うちバス事業者14社51名)

ス. 島根県との協定に基づき島根原発避難訓練・視察研修・防災業務研修に参加し、原発事故発生時の対応確認を実施。

(3) 環境対策の推進

ア. 環境対応車両の導入の促進を図るとともにエコドライブの推進を図った。

・EMS・ドライブレコーダー導入助成 36両(再掲)

イ. 安全を脅かし道路交通の秩序を乱すとともに、排出ガスによる大気汚染、騒音等の環境悪化の要因となる不正改造車を排除するため、強化月間(6月中)において、排除のための啓発、情報収集、従業員に対する指導、自主点検の実施を行い、積極的に排除に努めた。

ウ. 「バスの日記念事業」において、アイドリングストップ運動の推進を図るな

どアイドリングストップを推進した。

エ. 貸切バス利用者にエチケット袋を配付し、環境対策の啓蒙と環境整備に努めた。(交付金事業)

・エチケット袋

138万枚

(4) バス活性化事業の推進

ア. 9月20日「バスの日」を中心にサービス向上運動を展開、バスの日の子ども運賃無料を実施するとともに、優良乗務員・善行者表彰を行うなど、安全で安心なバス、人と環境にやさしいバス、便利で快適なバスとして認識してもらうよう努めた。

イ. 子どもに身近なバスの役割や良さを知ってもらうため「こどもの日」に子ども運賃を無料として利用してもらった。(県内乗合バス事業者11社)

ウ. 「岡山県公共交通教室連携会議」が実施するバリアフリー教室やバスの乗り方教室などの開催について、参画・協賛し公共交通を利用しやすい環境づくりに推進した。

エ. 「岡山駅西口バスセンター開設10年目ありがとうキャンペーン」を実施し、景品(ハレカ)を提供。西口を発着する高速バス、貸切バス、路線バスをPRし、さらなる利用促進に取り組んだ。(一般会計)

オ. 「岡山県道路交通渋滞対策会議」「岡山県道路利用者会議」などの会議を通じて、国、岡山県、警察本部、岡山市などに渋滞箇所の緩和対策について積極的に要請を行った。

カ. 「岡山県地域公共交通対策検討会」「岡山市公共交通網形成協議会」「路面電車乗り入れを含めた岡山駅前広場のあり方検討会」などを通じ、岡山市の交通体系のあり方について、バス事業を円滑に推進するため意見を述べ、検討し、公共交通を活かした都市づくりの構築に協力した。

キ. 「倉敷市地域公共交通会議」において公共交通網形成計画に基づく路線別ナンバリング・カラーリングなど、事業の推進に積極的に努めた。

ク. 津山市が主催する「公共交通利用の日」において、イベントへの協力を行い、バス利用の促進に努めた。

ケ. 「赤磐市地域公共交通会議」に委員として参画し、地域公共交通網形成計画に基づく施策の推進に積極的に提言を行った。

コ. 利用促進グッズ

バス利用促進として、「バスの日」や「バスの乗り方教室」などのイベント行事の際にバス利用促進グッズを配布。(交付金事業)

・オリジナルミニノート

12,000冊

・三つ折りクリアファイル

3,000枚

(5) 運輸事業振興助成交付金の適切な運用等

ア. 役員会、補助金運用委員会で協議し岡山県の認可を得て次の事業を実施した。

事業の名称	事業金額
バス停留所整備事業	4,659,620円
輸送サービス改善事業	7,108,760円
安全運行対策事業	13,711,437円
維持運営管理事業	1,427,183円
合計	26,907,000円

イ. 日本バス協会の助成制度を次のとおり活用した。

事業名称	数量	金額	備考
人と環境にやさしいバス普及事業	1両	267,000円	ノンステップ
〃	2両	178,000円	低床スロープ
〃	12両	1,200,000円	衝突被害軽減ブレーキ装備車
地方路線バス及び貸切バス助成事業	2両	68,000円	車両購入
大型二種免許取得養成助成事業	18名	846,000円	二種免許取得
利子補給事業	1社	271,810円	利子補給額
合計		2,830,810円	

(6) 各種イベントへの参画等バス利用促進

「おかやまマラソン2019」において、ランナー輸送、役員輸送、岡山駅と会場のシャトルバス等円滑な輸送に協力。(39台)

(7) 陳情・要望等について

バス輸送の振興、安全性の確保、環境対策、バリアフリー対策、渋滞対策等を円滑に遂行するため、バス関係諸制度の見直しや予算及び税制などに関し関係機関に次のような要望を行った。

ア. 「陳情書」

1. 令和元年6月14日、岡山市議会議長あて「路面電車岡山駅前広場乗り入れ計画の実証実験の実施に関する陳情」を提出。

本陳情は、岡山市が路面電車岡山駅前広場乗り入れ計画を進めるにあ

たり、路線バスへの出入りに支障が無いことを可能な限り正確に把握するための実証実験の実施を求めて平成28年3月2日に岡山市議会議長あて提出したものが、議員の任期満了（平成31年4月30日）により審議未了となったため、同内容で再度陳情書を提出したもので、令和元年7月2日、岡山市議会において採択された。

2. 令和元年10月1日、公明党政策（予算）要望懇談会において公明党岡山県本部あて「予算・政策要望書」を提出。

令和元年11月1日、令和2年度岡山県予算編成に関する個別懇談会において、自由民主党岡山県支部連合会岡山県議団あて「陳情書」を提出。次の事項について重点的に要望した。

- ・地域公共交通の確保維持及びバス関係予算の確保
- ・地域振興特定路線維持対策費の拡充
- ・運輸事業振興助成交付金制度の継続及び拡充
- ・環境対応バス導入加速事業補助金の継続及び拡充
- ・貸切バスの輸送に関する予算の拡充
- ・バス運転者確保対策等の推進
- ・自動車関係諸税にかかる負担軽減
- ・消費税率再引き上げに際しての税負担の軽減
- ・外形標準課税の適用拡大によるバス事業への負担増への反対

3. 令和2年2月25日、岡山市長あて「こどもの森国際児童年記念公園への貸切バス駐車場の確保」について要望書を提出し、貸切バスが多く利用される学校行事での利用が多い同公園への貸切バス駐車場の設置を要望した。

4. 令和2年3月12日、岡山県知事あて「環境対応バス導入加速事業補助金の延長・継続」について要望書を提出し、令和2年度で打ち切りとなる岡山県の環境対応バス導入事業の継続を要望した。

（8）その他

ア. 乗合バス車内ポスター掲示、営業所へのポスター掲示・チラシ配付等による行政等の、啓発・広報等への協力

- ・不正軽油対策ポスター
- ・おかやまマラソン2019
- ・おかやま桃太郎まつり
- ・クールチョイス
- ・踏切事故防止キャンペーン

- ・愛の血液助け合い運動
 - ・いじめ防止啓発ポスター
 - ・不正ガソリン110番に係るチラシ
 - ・県議・市議選挙啓発用シール
 - ・北方領土標語
 - ・不正改造車を排除する運動
 - ・G20岡山保健大臣会合開催
 - ・岡山芸術交流
 - ・ベビーカーキャンペーン
 - ・座席の利用マナー向上キャンペーン
 - ・高速道路等における各種規制等
 - ・環境省「スマート・ムーブ」ポスター
 - ・山陽女子ロードレース
 - ・2020東京オリンピック聖火リレー
 - ・予防救急ポスター
 - ・ウォームビズ県民運動
 - ・シートベルト着用啓発シート
 - ・子ども用車椅子普及啓発ポスター
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策
- イ. バス関係法令・通達等の周知
- ウ. 各種会議・イベントへの参加
- エ. 統計資料等の作成配布
- オ. 日本バス協会、中国バス協会事業の推進及び協力
- カ. 新型コロナウイルス感染症についての情報収集と各種支援制度・助成制度等についての積極的な情報提供

※事業報告の附属明細書

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。